

基盤地図情報作成検査ツール バージョン 1.16 更新記録

2008/11/13
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 修正

[基盤地図情報]-[基盤地図情報 XML 検査]の[二重取得]で、面(Surface)について、二重取得が検出できない問題を修正しました。

2. 行政区画と行政区画代表点・町字の代表点の対応

[基盤地図情報]-[シェープファイル検査]と[基盤地図情報 XML 検査]の「行政区画と行政区画代表点の対応」を「行政区画と行政区画代表点・町字の代表点の対応」に変更しました。従来は行政区画のポリゴンと行政区画代表点のポイントとの対応をチェックしていましたが、行政区画のポリゴンと行政区画代表点・町字の代表点のポイントで対応をチェックします。

3. ポリゴン化チェック

[基盤地図情報]-[シェープファイル検査]と[基盤地図情報 XML 検査]の「ポリゴン化」で、建築物と建築物の外周線については、同じ種別の線が重なっていないとエラーとするようにしました。他の地物は従来通り、図形の重なりのみでチェックします。